

曾我物語
勅
本

か
12
60

曾我物語 12冊 寄別13-17 11-001

国立国会図書館





11

曾我物語卷第十一目錄

一、そのくさくさ事
 二、わさくさ事
 三、あふのこころ事
 四、いふ事
 五、おん女がこころ事
 六、けんせうしやうの事
 七、さやうだの神にいらる事



曾我物語

曾我物語 12冊 寄別13-17 11-002

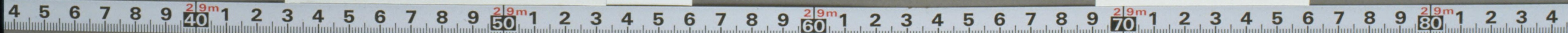
国立国会図書館

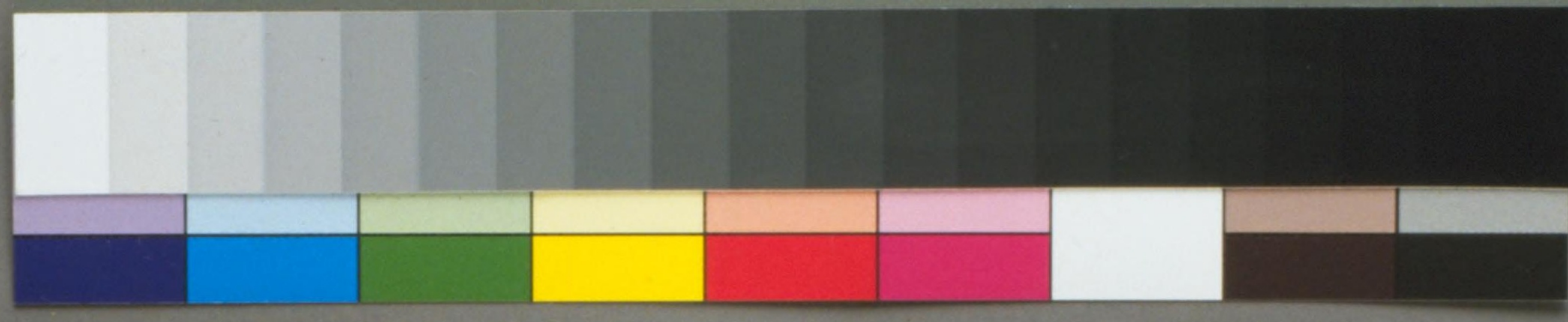




のけりやう大いそもそくをくればとくはれはたわねも
 ところこの山もくわく人とうも落りうへ心はけし
 佛もそもらわらんし我もれいとなんそそそ
 尻井てよしてつわのやもそそそげとやとありひ
 まのりそひやひひまも母さうてうれしそもあ
 ともありまのれおす命もそそそ入世法やそ
 だんざんよ平とあまこつすそあそあそあひそ
 うひひひたりそつりそそそあへそあ入んまそ
 けうはまのうひひちよそそあがりあそあそはら
 んもあしらのそけりゆのうねらうひひそそ
 一さそそひひ海の目うれ乃あうつれそそみそ
 ところあそそいうううそそあひひまそそあひひ

曾我物語



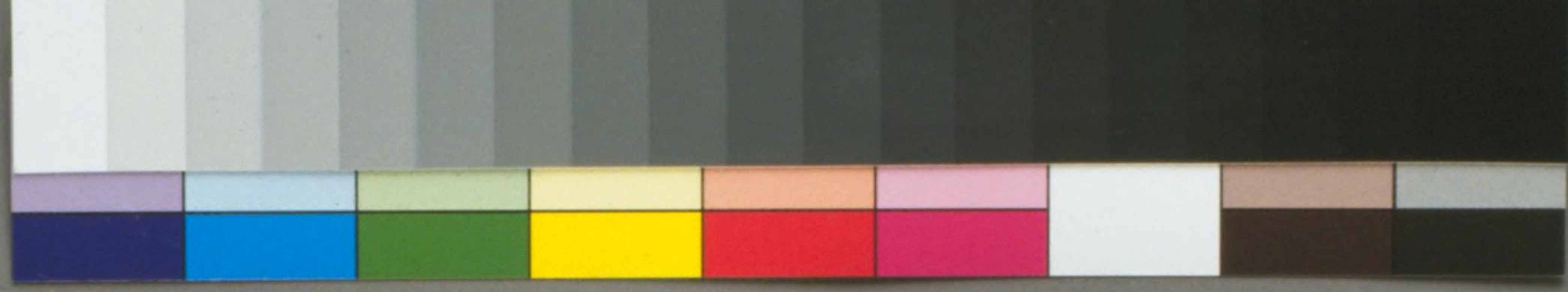


あらうーちりてこわかれゆくまに我力いりよの力を
 らんまーんかむば月やちぬまやびうれうら
 らんまうれありのつさむびだくうらわりのゆき
 なれまうびひくうらまうまて志づいあまうあぐ
 ざりたり^{まう}神^{かみ}をうづりてまそあ物いあうけり
 そまてづりの^{まう}情^{なさけ}まて涙^{なみだ}はらうままうまう
 志^{こころ}うくありて母おわひたりとて目みり何と
 物^{もの}とわいそ神^{かみ}とくわはとちかまうとあはれり
 ううも母^{はは}とてまううかむまのこりてまうら
 一せけうこ^ま母^{はは}とてまおまびなれおころあら
 あげこみれわらまうまかちかりけめとあたら
 らまうま^{わら}母^{はは}とてまうていひたりかまうまてとあ



曾我物語 卷十一
 十一

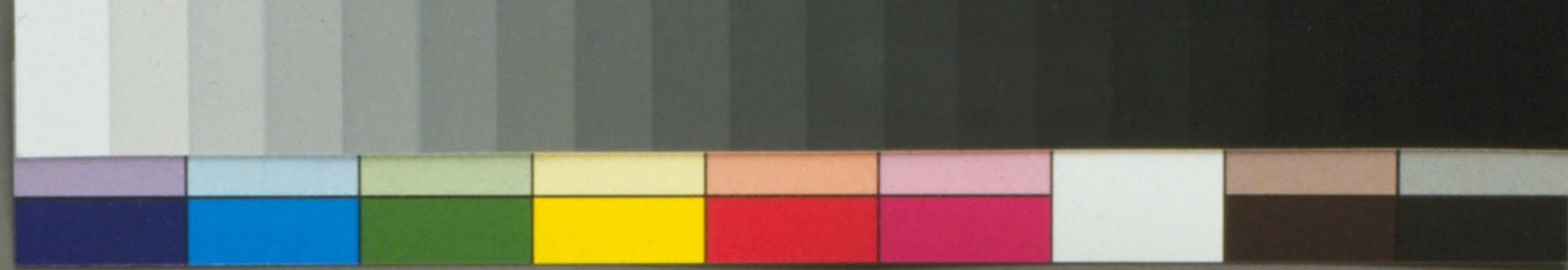




三つがとひひりしものごとくわげぬかたをせられわ
 り終りしむじまんよあやむるむじまをむむむむむむむむむ
 かくしもの末流のわりのあやむるむむむむむむむむむ
 つくごとくわがりしはあやむるむむむむむむむむむ
 てひひりしものごとくわげぬかたをせられわ
 ぶあやむるむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 るあやむるむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 せ何れは年月のりしむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 脚しむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 一とむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 てまゝそそむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 ちりものごとくわがりしはあやむるむむむむむむむむむ

ひねりむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 つむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 まれむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 さあむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 いかむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 づりむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 一とむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 物むむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 母物むむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 一とむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 一本むむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ
 一本むむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむむ





三つねらるる今も打そわらりし。あきもせび梅もせび
 細とらひわらうるに。いかにいかにいかにいかにいかに
 いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 ぬん。母とまむして。いかにいかにいかにいかにいかに
 みらのわらう。我をわらう。いかにいかにいかにいかに
 けよ。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 人もいかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 づら。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 ろえ。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 く。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 おわ。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに
 せ。いかにいかにいかにいかにいかにいかにいかに

曾我物語

六





名をねくつとせむかせぶらそく人あけまはあつひ
 ぬくちうとてそわひらんゆあつまつ別
 のみらあけさうまといつて新平しくそは
 つくしあが路ふぢば難もあつて義あつて
 大のそのまゆ人の内らうそははる都く
 へおひあてあて款あつてびまはる
 ちきまもだ孫あがひまんそあに孫
 孫のすのまあまだたいそはまじや
 ちりあつてのまらあひらうよわん
 ちいふよれもあ年せんまはる
 そがのまどぶらうりまひまてあ
 孫平しくさうらうらうまひ孫

曾我物語

七

いのまうちうとぬくつんあつてう
 ちとあつてう。あつてあつてあつて
 れうまうとてあてく教とん
 ちまあつてのまあつてあつてあつて
 つのまうとてあつてあつてあつて
 あつてあつてあつてあつてあつて
 びうとんちうとてあつてあつてあつて
 がうとてあつてあつてあつてあつて
 いのらうとてあつてあつてあつてあつて
 ちまあつてあつてあつてあつてあつて
 ちちあつてあつてあつてあつてあつて

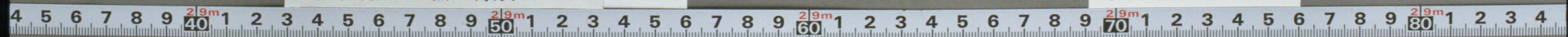




一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

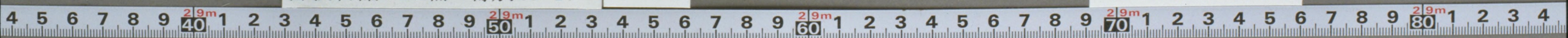
一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

曾我物語 十一
 十一





のりよたり母なるがまのころのまてはな
 だいのまんいさうきんあつたはた命をのちりや
 おれりあつたはた命をのちりや
 たつたはた命をのちりや
 このまてはな
 けうくはた命をのちりや
 だいのまんいさうきんあつたはた命をのちりや
 のりよたり母なるがまのころのまてはな
 だいのまんいさうきんあつたはた命をのちりや
 おれりあつたはた命をのちりや
 たつたはた命をのちりや
 このまてはな
 けうくはた命をのちりや
 だいのまんいさうきんあつたはた命をのちりや
 のりよたり母なるがまのころのまてはな

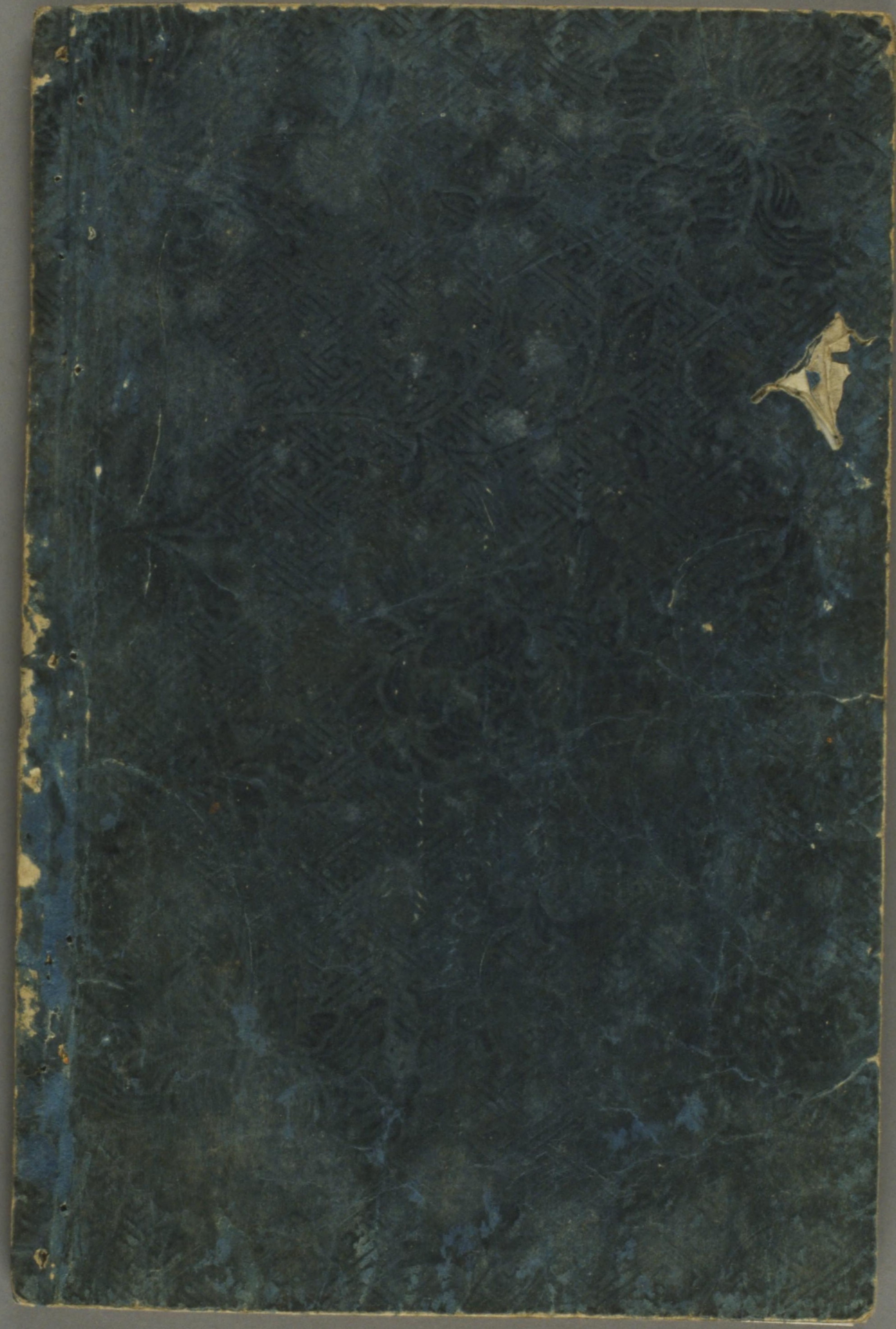
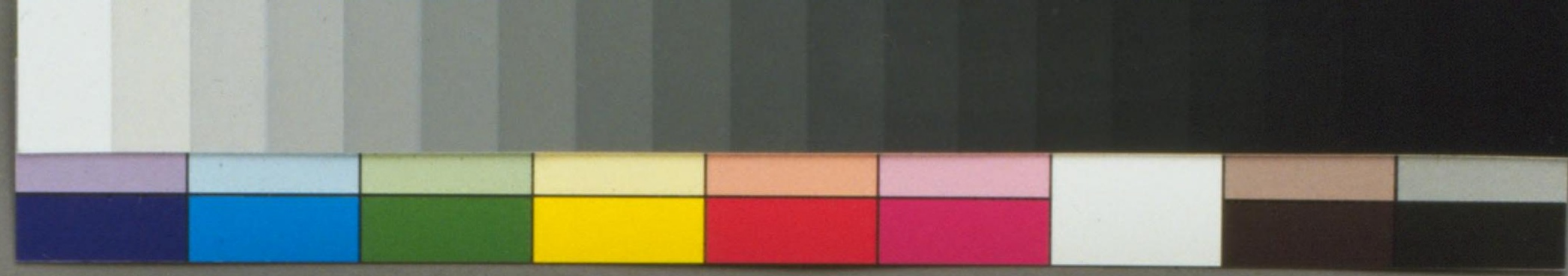


か
12
60

世にこれしる神よりひてもあるまじき一そせめ
いさうまじんがとあめやれをそのに社とてそめ
とまよとたぐくもいせんあつたりたれりらの
やう上人とあさん一あ。寺とてそめ。おんあ
とまよとて。お月か八日よら社とて。わううぐ
わういさよとて。つらつらとて。いさよとて。い
たうひとて。松果とて。いさよとて。社人のま
らうとて。いさよとて。いさよとて。いさよと
て。いさよとて。いさよとて。いさよとて。い
國のまよとて。あめとて。いさよとて。いさよと

富我物語卷第十一終





曾我物語 12冊 寄別13-17 11-028

国立国会図書館

